

## 第 2 ・ 3 学年音楽科学習指導案

日 時 平成 18 年 9 月 15 日 (金) 5 校時  
児 童 2 学年 男子 1 名 女子 5 名 計 6 名  
3 学年 男子 2 名 女子 1 名 計 3 名  
指導者 小松 久美子

- 1 題材名 リズムにのってあそぼう  
教材名 「トルコ行進曲」「メヌエット」「いるかはざんぶらこ」「山のポルカ」  
「ピラミッドのうた」

### 2 題材について

#### (1) 題材について

本題材は、学習指導要領、第 2 学年の内容「A 表現 ( 1 ) のイ 階名で模唱や暗唱をしたり、リズム譜に親しんだりすること。」及び、「A 表現 ( 2 ) のイ 拍の流れやフレーズを感じ取って演奏したり身体表現したりすること。」、また、第 3 学年の内容「A 表現 ( 2 ) のイ 拍の流れやフレーズ、強弱や速度の変化を感じ取って、演奏したり身体表現をしたりすること。」「A 表現 ( 4 ) のア 音の組み合わせを工夫し、簡単なリズムや旋律をつくって表現すること。」にかかわる学習である。

本題材では、2 拍子と 3 拍子の拍子の特徴に気づいたり、拍子の違いによるリズムの特徴を感じ取って表現したり、リズム譜を見ながら演奏したりする学習を行い、リズムに対する感覚や表現の基礎を育てていく。そのために、「聴くこと」「歌うこと」「身体表現をすること」などの音楽活動を総合的に扱いながらリズム感覚を身に付けさせるように指導していく。

#### (2) 児童について

学級の児童は、2 ・ 3 年生の複式学級である。音楽経験において個人差があるが、どの児童も音楽活動を好み、歌うこと、楽器を演奏すること、身体表現をすることを楽しんでいる。

これまで、リズムの模倣遊びを継続指導するなかで、さまざまなリズムにふれさせるようになってきた。はじめは、うまく手拍子が打てなかったり、即興的にリズムを作って手拍子を打ったりすることができなかった児童もだいぶ慣れ、喜んでやるようになってきている。

歌うことに関しては、数人の児童が少しずつではあるが、高音域を出せるようになってきている。また、きれいな発声をめざし、柔らかい声で歌おうとする児童も増えてきた。

鍵盤ハーモニカは、喜んで演奏するが技術に差があり、男子はやや苦手としている。そこで、練習時間を確保したり、グループ内で教え合ったりして繰り返し練習することで、学習した曲については自信を持って演奏できるようになってきている。

3 年生のリコーダー演奏は、「ソ、ラ、シ、ド、レ」の指使いがわかり、穴の抑え方やタンギングに気を付けるようになってきてはいるが、美しい音色で演奏できるようにするにはもう少し練習を必要とする。

#### (3) 指導にあたって

2 ・ 3 学年の複式学級ということもあり、指導過程の中には低学年、中学年の指導内容を取り入

れるようにして指導していきたい。特に3年生については、低学年の時に身につけたリズムの基礎をさらに確実に身につけさせ、より豊かな音楽的活動ができるようにしていきたい。また、旋律を階名で視唱したり視奏したりすることにも慣れさせていきたい。

リズム譜を読み取る学習は、音符カードを使いながら、リズム打ちとリズム譜を対応させたり、言葉によるリズム読みをしたりしてリズム視唱に慣れさせていきたい。また、リズムしりとりやリズム伝言ゲーム、リズムカルタなどさまざまな遊びも取り入れ、楽しく身に付けることができるようにしたい。

本校の研究に関わって、児童の実態をもとに音楽経験の違いを生かした2・3年生混合の小グループを作り、グループ内において相談したり教え合ったりしながら課題を解決し、互いに高め合うことができるようにしたい。また、共に一緒に歌ったり演奏したりすることの良さや楽しさを味わわせたい。

### 3 題材の目標

リズム譜に親しみ、拍の流れにのって簡単なリズムを表現することができる。

拍子やリズムなどの音楽の特徴を感じ取って、身体表現をしたり演奏の仕方を工夫したりすることができる。

関心・意欲・態度

- ・拍子やリズムに関心をもって進んで歌ったり演奏したりする。

音楽的な感受や表現の工夫

- ・拍子の特徴を感じ取って、演奏の仕方や身体表現を工夫する。

表現の技能

- ・拍の流れにのって歌ったりリズムを打ったり、楽器を演奏したりすることができる。

鑑賞の能力

- ・拍子やリズムの違いを感じ取って聴くことができる。

### 4 指導計画と評価規準（14時間）

	目 標	主な学習活動（ ）と評価規準（・）
第 一 次	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの楽曲に合う身体表現を工夫し、拍子の特徴の違いを感じ取ることができるようにする。</li> </ul> トルコ行進曲 メヌエット 身体表現をしたり場面を想像したりしながら聴く。 音楽の気分を感じ取って身体表現を工夫する。 2つの曲の拍子の特徴の違いを感じ取って聴く。 ・拍子の違いによる曲の気分を感じ取っている。 (鑑)
	2	
	3	いるかはざんぶらこ 歌ったり身体表現したりして、3拍子の拍の流れを感じ取る。 リズム譜を見ながら、拍の流れにのって打楽器
	4	

第 二 次	5		を演奏したり歌の伴奏をしたりする。 ・ 3拍子の拍の流れを感じ取って、歌ったりリズムを打ったりすることができる。 (表)
	6		山のポルカ 2拍子を感じ取って、旋律を階名唱したり交互唱をしたりする。
	7		リズム伴奏の楽器を選び、2拍子の気分を味わいながらバッテリー奏をする。
	8		音色に気をつけながら、主旋律とリズム伴奏を合わせて演奏を楽しむ。
	9		・ 歌に合わせて、2拍子のリズム伴奏をすることができる。 (表)
第 三 次	10	・ リズムの組み合わせ方を工夫したり、3拍子の曲の気分に合うように歌い方を工夫したりする。	リズムを組み合わせてあそぼう
	11		いろいろなリズムを組み合わせ手拍子したり楽器で演奏したりして楽しむ。
	12		組み合わせたリズムをみんなでリレーしたり重ねたりして楽しむ。 ・ 拍の流れによってリズム表現を工夫している。 (感)
	13		ピラミッドのうた 3拍子の気分を味わいながら、歌ったり身体表現をしたりする。
	14		・ 3拍子の気分を感じ取って歌っている。 (表)

## 5 本時の指導

### (1) 目標

#### 2年生

- ・ いろいろなリズムの組み合わせを工夫してリズム譜を作り、手拍子をしたり楽器で演奏したりして楽しむことができる。 (音楽的な感受や表現の工夫)

#### 3年生

- ・ いろいろなリズムの組み合わせを工夫してリズム譜を作り、視唱したり視奏したりしながら演奏して楽しむことができる。 (音楽的な感受や表現の工夫)

### (2) 授業仮説

- ・ 2、3人の小グループで作ったリズム譜を発表し合うことで、いろいろなリズムの違いに気づくことができるであろう。

(3)展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 ( 少人数を生かした指導 )
つ か む  10 分	1 既習曲を歌う。 「山のポルカ」  2 リズム遊びする。  3 学習の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">             リズムを組み合わせさせてあそぼう。           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きく口をあけ、笑顔で、柔らかい声を目指しながら歌うようにさせる。</li> <li>・2拍子のリズムを意識させながら歌わせる。</li> <li>・リズムの模倣やゲームを通して楽しみながらリズム感をつかむことができるようにする。</li> <li>・音符カードを使ってリズム譜の読み方の確認をする。 リズムの模倣は、児童のリーダーによる模倣もさせる。</li> </ul>
ふ か め る  30 分	4 グループごとにリズムを組み合わせる。  6 組み合わせたリズム譜をグループごとに発表し合う。  7 まとめの演奏をする。 ・各グループで作ったリズムを全員で演奏する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6つのリズムが書かれたカードを配布し、カードを並べ替えさせながら、手拍子を打ったり、言葉で表現したりしながら、お祭りの雰囲気が出るような2 / 4拍子、4小節8拍のリズム譜を作らせる。</li> <li>・同じリズムを繰り返し使っても良いことを知らせる。</li> <li>・組み合わせたリズムを打楽器で演奏して確かめさせる。 二人（一組は三人）の小グループに組ませ、相談し合いながらリズム譜を完成させることができるように支援する。</li> <li>・それぞれのリズムを聴き合い、いろいろなリズムのおもしろさに気づかせる。</li> <li>・発表の際にはリズムカードを掲示し、聴く側もリズムを確認しながら聴くことができるようにする。</li> <li>・発表を聞くときの視点をはっきりさせる。</li> </ul> <p>( 評 )</p> <p>2年生 作った2 / 4拍子、4小節8拍のリズム譜を、演奏して楽しむことができる。</p> <p>3年生 作った2 / 4拍子、4小節8拍のリズム譜を、視唱や視奏をしながら演奏して楽しむことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器や手拍子、掛け声、身体表現を取り入れ、お祭りの雰囲気を出して楽しむようにする。</li> </ul>

ま と め る	8 学習のまとめをする。 ・感想を発表する。 ・うまくリズムを組み合わせて 作ることができた。 ・いろいろなリズムがあつてお もしろい。	・自分や互いのがんばり、良さを認めると共に、もう少し がんばってほしいところを指摘し合ったりすることが できるようにする。
	9 次時の学習内容を知る。 ・他のグループのリズムと組み合 わせてリズムのリレーをした り、リズムを重ねてみたりして 楽しむことを確認する。	・次時の学習でも本時の学習を生かして演奏して楽しむ ことを話し、次時への期待が持てるようにする。
5 分		

(4) 評価規準と具体の評価規準

2年生の評価規準と具体の評価規準

- ・作った2 / 4拍子、4小節8拍のリズム譜を作り、演奏して楽しむことができる。
- A 2 / 4拍子、4小節8拍のリズム譜を作り、演奏したりいろいろなリズムのおもしろさを感じ取ったりしている。
- B 2 / 4拍子、4小節8拍のリズム譜を作り演奏している。
- 「努力を要する児童」への支援  
一緒に繰り返し手拍子を打ったり、リズム唱をしたりしながらリズムに慣れさせる。

3年生の評価規準と具体の評価規準

- ・作った2 / 4拍子、4小節8拍のリズム譜を作り、視唱や視奏をしながら演奏して楽しむことができる。
- A 2 / 4拍子、4小節8拍のリズム譜を作り、視唱や視奏をしながら演奏したり、いろいろなリズムの違いを感じ取ったりしている。
- B 2 / 4拍子、4小節8拍のリズム譜を作り、視唱や視奏をしながら演奏している。
- 「努力を要する児童」への支援  
リズム譜を見ながら一緒に繰り返し手拍子を打ったり、リズム唱をしたりしながらリズムに慣れさせる。

(5) 場の設定

